

# 山行報告書

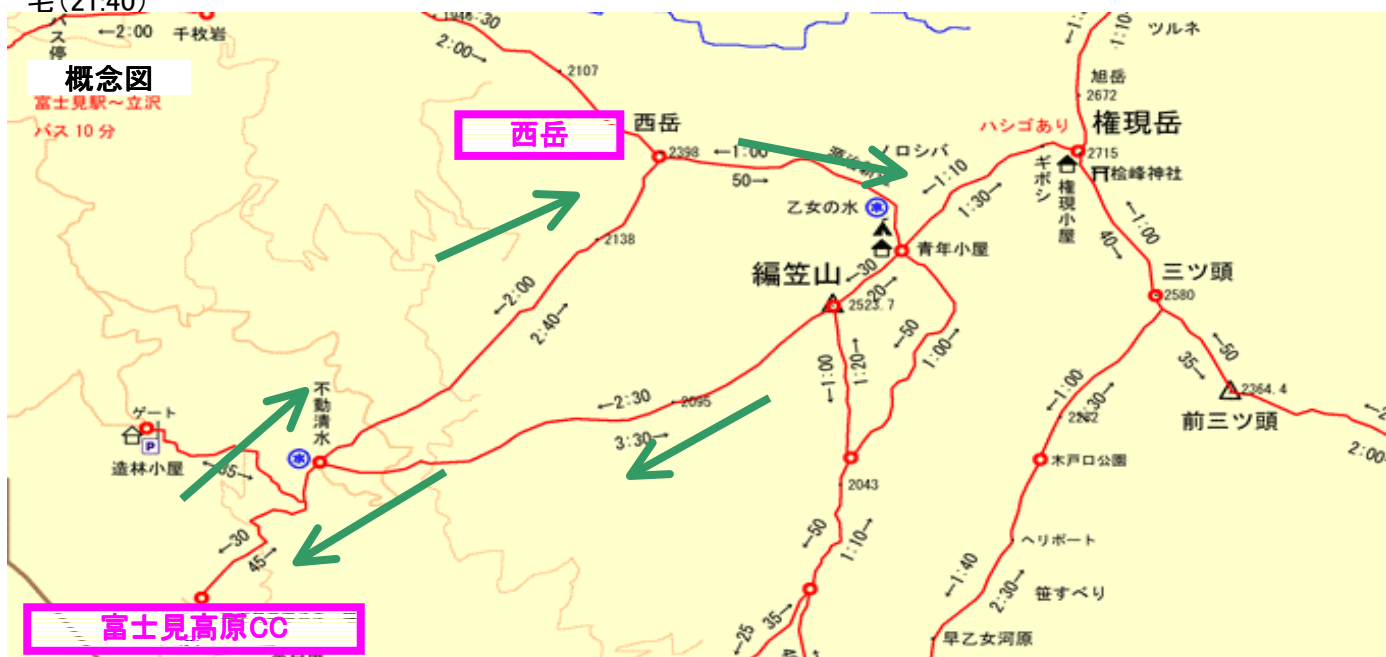
報告書作成

2012年6月12日

山名 [山域]	編笠山[八ヶ岳南部]	目的と方法	南八が岳の展望
登山期間	2012年4月7日(土)(土)	山行形態	日帰り
参加人数	2人		

## 行動記録

K宅(3:50)=0:05=岡崎IC(3:55)=1:21=駒ヶ岳SA(5:16,5:33)=0:57=小淵沢IC(6:30)=0:00=富士見高原PKG(1350m/6:30,7:15)—0:30—不動清水(7:45)—2:45—西岳山頂(2398m/10:30,10:40)—1:05—昼食休憩(11:45,12:20)—1:00—青年小屋(2380m/13:20)—0:36—編笠山(2524m/13:56,14:10)—3:04—富士見高原PKG(1350m/17:14,17:30)=0:15=鹿の湯(17:45,19:00)=0:10=小淵沢IC(19:10)=2:25=岡崎IC(21:35)=0:05=K宅(21:40)



## 日誌

天候(曇り)

天気は今一つ。展望は利かない予感がしながら、登り始める。いつも登り出しは慣れるまできつく感じるが、今日も同じ。だけど足が重く感じる。始めは林道を何回か横切り緩やかな登りに差し掛かる。青年小屋で一泊するという女性単独登山者の方にあっさり抜かれる…。今回は日帰り以西岳登頂までへの時間制限もあるため、少し焦る。途中までアイゼン必要なく今回の山行前の爆弾低気圧のお陰で降り積もった雪で凍結箇所もない。山頂直下から編笠やまが見えるもすぐにガスの中に隠れてしまった。西岳山頂まではしっかりトレースもあり安心して歩くことが出来た。目標の12時前に西岳山頂にたどり着くという制限時間をもうけ、制限時間オーバーしたら西岳ピストンへ変更することも視野に入れていたが、10時半にたどり着くことが出来、西岳へのトレースもあることから、編笠山周回コースをたどることとする。

ここからかなり雪が深くなる。ずぼずぼはまって身動きが取れなくなるため、ワカンを装着。積雪が多く、頭上に木の枝がかかるためかきわけかきわけ進む…。わかん装着の時から感じていた寒さから来る手の痛みが最高潮に。手が痛くて足が止まってしまった。手袋を装着するのが遅れたため凍傷になりかけていた。CLの看護により回復する。登り始めから続いていた足が重たく感じ続けており、なかなか足がすすまない。鞍部で昼食する。青年小屋から編笠山までは風の吹き抜けが強く、凍結しているため、アイゼンを装着して登る。編笠山山頂から富士見高原方面への登山道はトレースがなく、肝心のGPSが電池切れ。30、40分山頂付近をうろろする。赤旗を頼りに何とか下山道を見つけることができた。(ほっ…)

下り始めると日が差してきて、気持ちよい樹林の中を下山した。長ーい下り道でした。

## 感想

今回は、勉強になることの多い山行でした。実は、CLさんに助けられ、どきどきとする瞬間もありました。ただルートが分からなくなったときはさらにどきどきしてしまいました。ルートが不明瞭な雪山は夏に登っておくと安心だなと思いました。